

端末の仕様を統一し、「MDM」を導入するとできること

○ ICT端末は、OSを統一することにより、リモートで一括設定できる端末管理ツール「MDM」を導入できます。

○ 「MDM」を導入することにより、生徒端末を安心・安全に利活用できるような設定が行えます。（右図のとおり）

○ 本市の小中学校に整備した「chromebook」は、以下のようなメリットがあります。

- ・ 端末費用が比較的安価
- ・ 設定が簡単
- ・ 起動が早く、動作が軽快
- ・ ウィルス対策ソフト不要
- ・ アップデートのサイズが比較的小さく、通信量を抑えられる。

○ 以上から、本校の教育活動で使用するICT端末は、「chromebook」に統一することとしています。
なにとぞご理解お願い申し上げます。

① 授業中のトラブルを未然に防ぐことができる

端末の仕様や設定が統一されていないと、以下のようなトラブルが起きる可能性がある。

- ・ 一部の端末だけアプリが使えない
- ・ 無線LANに繋がらない
- ・ 強制的にOSの更新による再起動が始まる



MDMで全生徒の端末をリモートで一元的に設定することにより、左記のようなトラブルを防ぐことができる。



学校
(管理者)

② 不適切なアプリの使用やウェブページの閲覧を防止できる



学校
(管理者)



MDMで、アプリの使用権限やWEBフィルタリングを設定することにより、目的外使用を防止できる。



③ 盗難・紛失時の遠隔ロックが可能になる



盗難



報告



学校
(管理者)

盗難された端末が第三者によりネットワークに接続された瞬間、端末がロックされるようMDMで設定し、情報漏洩を防ぐことができる。